

令和3年度化学部会事業活動報告

① 部会における年次大会（全体会合）・委員会活動・幹事会

基本的には、見学会を予定している4月と10月を除き、部会幹事会を毎月の定例講演会の前に開催している。幹事会では今後の講演会等のスケジュール、講師の外部専門家の選定、理事会・委員会活動報告等を行っている。

本年は、コロナ感染拡大防止対応のため、すべてのWEB開催した（12月は、ハイブリッド）。

また、総会（全体会合）は、コロナ感染対応のためWEB開催となり6月に、定例講演会の後に開催した。

② 講演会

午前中開催の幹事会の午後に、定例講演会を行っている。以前木曜日開催を主体としていたが、現役会員等が参加し難いとのことで、本年度から、全て土曜日開催とした。本年は、コロナ感染拡大防止対応のため、すべてのWEB開催となった。（12月は、ハイブリッド）。対面での講演会の良さは比べ様がないが、WEB開催となったことで、遠方の講師先生、聴講者の来場のご負担が低減でき、参加者が増加した。さらには、米国在住の講師との直接の講演会（4月）を開催することも出来た。

講演会は各月、外部専門家と技術士（主に化学部門）1名ずつをセットにして、外部専門家からは幅広いジャンル（e.g. 高分子と応用技術、セラミクスと炭素材料、触媒、表示材料、粉体技術）のご講演を頂き、技術士には自身の業績廻り（e.g. 環境技術、海外活動、粉体技術、電子デバイス、印刷技術）の話題を講演してもらった。

また、人脈と視野の拡大を目的に、他部会との交流を推進している。本年度は金属部会と繊維部会との合同講演会を11月の全国大会にて実施した。

また、次代の化学部会を担う現役世代（「若手の会」）の技術士を対象とする年2回の定例土曜講演会は、コロナ感染対応のため、1回となり、1月にWEB開催した。また、例年実施している子供向けの理科教室は、コロナ感染対応のため中止した。

③ 見学会

例年度は4月と10月に2回見学会を開催している。本年度4月度は、川崎市キングスカイフロント地区ナノ医療イノベーションセンター見学を企画し、進めていたが、コロナ感染拡大防止対応のため中止とし、WEB講演会に切り替えた。また、10月度も、見学会を中止し、WEB講演会に切り替えた。

④ 化学物質管理研究会

「化学物質管理」に特化した専門知識を習得するため、偶数月に勉強会、事例研究会、セミナーを統括本部と近畿支部、中部支部との間でWEB中継して開催し、その講演会の前に同じくWEB中継して幹事会を開催し入会承認、行事、講演企画等を検討している。本会を母体として立ち上げた（一社）化学物質管理士協会（Pro-MOCS）が令和元年度から実施している「化学物質管理試験」の受験（民間）資格を得るため、および専門知識を深めることを目的としている。総会（全体会合）はコロナ感染を避けるために書面にて令和3年5月16日に開催した。技術士化学部門等の受験者が「化学物質管理試験」試験に合格すると、「化学物質管理士（Pro-MOCS が商標登録済）」を名のることができ、令和3年度は4名合格した。

⑤ 部会外展示活動

化学部会の活動の紹介、技術士の認知度向上を目的に、例年、日本化学会春季年会、新化学技術推進協会の異業種交流コーナーにブース展示を行ってきた。新型コロナウイルス感染に伴い、残念ながら、昨年度に続き本年度も、ブース展示が中止となった。

開催日	講演名	講演者所属	講演者	参加人数
2021年4月16日(金)	1.化学物質の登録申請について 2.タイ・ベトナムの化学物質管理	化学物質管理士 化学物質管理士	柘田 基司 前田 征希	19 (2)
2021年4月24日(土)	1.リビング重合における高分子機能製品の開発 2. バイオ化学品製造の技術開発状況と今後の展望	株式会社 カネカ 地球環境産業技術研究機構 バイオ研究G 主席研究員	中川佳樹 乾 将行	39 (1)
2021年5月22日(土)	1.鋳造法による炭素ナノ構造の次元制御 2.技術士の新たな挑戦、化学物質管理士制度の現状と課題 3.技術士会と化学部会の紹介	東北大学工学研究科 化学工学専攻 特任教授 化学物質管理研究会会長 化学物質管理士協会代表理事 化学部会幹事 敬愛技術士事務所	京谷 隆 林 誠一 森田敬愛	41 (8)
2021年6月11日(金)	国内外 GHS 関連法規制(日本、東/東南アジアを中心に)	星光 PMC(株)	小久保 慶陽	10
2021年6月26日(土)	1.バレーボールオリンピック公認球の開発 2.モルドバ共和国におけるバイオマプロジェクト	株式会社ミカサ スポーツ用品生産開発事業部 主席研究員 株式会社デンダエンジニアリング 社長	小川龍太郎 伝田六郎	33
2021年7月17日(土)	1.グリーンアンモニアの利用を目指した合成・分解用担持金属触媒の開発 2.循環型経済を実現する:循環型社会実現に向けた「包装の新潮流」	京都大学 触媒・電池元素戦略研究拠点 特定講師 有田技術士事務所 所長	佐藤勝俊 有田俊雄	46 (1)
2021年8月13日(金)	水銀汚染防止法への対応提言	平田技術士・労働安全コンサルタント事務所	平田 賢太郎	15
2021年8月28日(土)	1.電子ペーパーの現状と電気化学反応を利用した調光素子 2.粉体/粒体プロセスにおけるトラブルとその対策 ～なぜ粉体/粒体(微小固体の集まり)は、気体や液体の様に常識的な挙動を示さないのか	千葉大学大学院工学研究院 融合理工学府 准教授 吉原伊知郎技術士事務所 所長	中村一希 吉原伊知郎	47 (1)

2021年9月25日(土)	1.分解性を有するタフポリマーの開発:ImPACTの成果とムーンショットの紹介 2.燃料電池材料の研究開発状況と普及に向けた課題	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 物質系専攻 教授 山梨県産業技術センター材料・燃料電池技術部	伊藤耕三 三神武文	57
2021年10月22日(金)	マイクロプラスチック問題と企業の取り組み	化学物質管理研究会会長	林 誠一	15
2021年10月23日(土)	1.自己治癒セラミックスー台所から宇宙まで 多様な分野にイノベーションを起こす夢の新素材 2.地球環境保全に向けた触媒技術の役割と今後の展望	横浜国立大学大学院 工学研究院 教授 三菱重工業(株)総合研究所	中尾 航 野島 繁	50
2021年11月27日(土)	繊維・化学・金属部会合同部会「文化財科学から見たSDGs」	東京藝術大学大学院文化財保存学 教授	桐野文良	128 (94)
2021年12月3日(金)	1.«EU 化学物質規制戦略»~長期的視点と想定~ 2.«職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討»	東京環境経営研究所	松浦 徹也 鈴木 孝	17 (1)
2021年12月18日(土)	1.触感のセンシングとその商品開発への応用 2.科学技術立国ニッポンの危機!? ~子供の理科離れを無くすために奔走する、とある技術士の奮闘記~	山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学 教授 富士フィルム(株)記録メディア研究所	野々村美宗 佐藤理英	55 (ハイブリット講演会)
2021年1月15日(金)	1.メンタルヘルスの維持・向上」による“自分の中の”働き方改革について 2.«影響を及ぼせる範囲»「技術開発テーマの考え方»「技術者の相互協力»の観点からのメンタル強化策について	筑波大学人間系客員研究員、公認心理師・臨床心理士・博士(医学) ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ株式会社、技術士(化学)	石塚典子 前野聖二	54
2022年1月22日(土)	1.ポリイミドの熱分解による高熱伝導グラファイトの作製と熱制御材料への展開 2.積層セラミックコンデンサ(MLCC)およびMLCC用セラミック誘電体材料の開発について	(株)カネカ 研究リーダー 和田技術士事務所 代表	西川泰司 和田信之	44

2022年2月 18日(金)	「化学物質のリスクアセスメント義務化」～自主的な労働安全衛生マネジメントシステムの実行を～」	化学物質管理士	花井 健夫	1 1
2022年2月 26日(土)	1.ナノファイバーの事業化ー大学での発見・国家プロジェクト・ベンチャー企業設立・死の谷そして脱出ー 2.しょうゆの製造法及びプロセス改善と海外生産について	東京工業大学名誉教授、(株)Zetta CTO(Chief Technology Officer キッコーマン(株) 国際事業本部	谷岡明彦 川俣 聡	5 6
2022年3月 26日(土)	1.リキッドマープル工学:固体粒子の界面吸着現象に基づく液滴の安定化 2.デジタルプリンティング技術	大阪工業大学工学部応用化学学科教授 (株)リコー 技師長	藤井秀司 三矢輝章	4 5

令和3年度 公益社団法人日本技術士会 化学部会 会計報告
(2021/4/1 ~ 2022/3/31)

公益社団法人 日本技術士会 化学部会
会計担当幹事 中村英夫



収入	項目	金額(円)	備考
	本部補助金	330,000	通常の補助金 330,000円(2020年9月末の本部正会員数247名基準)、若手CPD補助金0円
	講演会参加費	460,000	全 12回、578名<会員555、学協会1、修習0、非会員2、無料20(技術士講師12、新合格者8)>
	見学会参加費	0	全0回、
	懇親会参加費	0	5月祝賀会、12月忘年会無し
	預金利息	7	
	その他	380,000	Web配信奨励金(5月260,000円、10月120,000円本部から振り込み)
		1,170,007	
	前期繰越金	707,075	
	合計	1,877,082	

支出	項目	金額(円)	備考
	講師謝礼	613,602	外部 12名、技術士11名、交通費(23,602円)
	外部会場費	0	
	部会お茶代	487	
	見学会費	0	
	懇親会費	0	
	事務費用	12,740	振り込み手数料(4340円)、PassMarket手数料(8400円 4月~9月)
	通信費	0	
	若手G活動補助	0	
	交通費	0	
	化学会出展関連費	0	
	その他支出	350,550	Web配信奨励金配布(310,000円)、葬祭(10,550円)、年次大会広告費(30,000円)
	小計	977,379	
	次期繰越金	899,703	
	合計	1,877,082	

会計監査の結果、すべて正当であることを認めます。

2020/6/25

公益社団法人 日本技術士会 化学部会
会計監査 北本 達治



令和4年度 化学部会事業計画（案）

1. 定例講演会の開催と充実化

コロナ感染拡大により、講演会は、昨年度より、WEB講演会となっている。開催日は、木曜日開催から土曜日開催に移行した。要望に沿って、現役会員等が参加しやすい方向に改善されて来ている。また、WEB講演会であることより、地方在住の部会員の皆様が容易に参加でき、地方在住の部会員の不公平も改善の方向にある。

基本的には、見学会を予定している4月と10月を除き、幹事会の後に定例講演会を行うことを予定している。開催日も、第四土曜日とし、現状のWEB講演会の利便性を向上させて、WEBと対面を併設した所謂ハイブリッド方式も適宜実施を検討している。

また、本年度は令和4年10月29日（土）に第48回全国大会（奈良）において、金属部会、繊維部会との合同企画を行い、他部会との交流により、人脈と視野の拡大を推進する。

2. 見学会

令和4年度は4月と10月の2回の見学会を予定している。4月度は令和4年4月28日（木）川崎市キングスカイフロント地区ナノ医療イノベーションセンター見学を行った。10月度については、見学先候補の検討を進めている。

3. 合格者歓迎会・祝賀会

令和4年4月2日（土）、一次、二次試験合格者の歓迎会をWEBで実施した。

令和4年5月28日（土）、一次、二次試験合格者の歓迎会をWEBで実施した。

4. 第103回日本化学会春季年会付設展示会出展。

令和5年3月22日（水）～25日（土）、東京理科大学 野田キャンパス、例年通りに化学部会のブース展示に参加を予定している。来訪者の年齢層に対応して、若手技術士に応援を要請したい。

5. 化学物質管理研究会の活動推進

昨年度同様に、勉強会、事例研究会、セミナーを、統括本部と近畿支部、中部支部との間でWEB中継またはハイブリッド中継して開催を予定している。また、同会を母体として立ち上げた（一社）化学物質管理士協会（Pro-MOCS）が、実施している「化学物質管理試験」を、本年度も実施する。化学部門等技術士が試験に合格すると、「化学物質管理士（Pro-MOCSが商標登録済）」を名のることができ、技術士化学部門等による専門領域形成を目指している。

6. 若手の会の活動推進

化学部会を担う現役世代（「若手の会」）の技術士を対象とする定例土曜講演会を'23/1月頃に1回実施する。また、夏休み期間中の理科教室の実施、及び11月のサイエンスアゴラへの参加を計画している。

2022/6/25

令和4年度 公益社団法人日本技術士会 化学部会 収支予算(案)
(2022/4/1 ~ 2023/3/31)

公益社団法人 日本技術士会 化学部会
部会長 渡辺春夫
会計担当幹事 中村英夫

[収入の部]

項目	金額(円)	適用
本部補助金	330,000	2021.9末本部正会員数251名基準
講演会参加費	400,000	全10回、平均:会員40名 (全てWeb講演と仮定)
見学会参加費	80,000	全2回、参加者40名
懇親会参加費	0	0回
その他	7	預金利息
小計	810,007	
前期繰越金	899,703	
合計	1,709,710	

[支出の部]

項目	金額(円)	適用
講師謝礼	500,000	税込(外部講師10名、技術士講師10名)
部会お茶代	0	
見学会費	10,000	土産代
懇親会費	0	
事務費用	20,000	事務用品類、振り込み手数料等
通信費	1,000	送料その他
若手G活動補助	60,000	
全国大会費用	30,000	広告宣伝費
交通費	25,000	地域本部幹事旅費等
化学会出展関連費	30,000	統括本部旅費、送料、日当交通費
予備費	50,000	
小計	726,000	
次期繰越金	983,710	
合計	1,709,710	

Web配信奨励金: 配信に関わった会員に対し作業費とし一人当たり1回6,000円を上限に部会から支払う。
奨励金の継続性、関わる会員数、作業費が定まらないため予算に組み入れない。

令和4年度「幹事人事関係」(案)

【敬称略】

幹事退任：後藤幸平

幹事留任：池田和人、伊藤雄二、伊藤由実、今泉雅裕、大木伸高、北本達治、
小柳嗣雄、佐藤理英、佐々木久美、沢木至、時合健生、竹内将人、
中村英夫、根木茂人、林誠一、平野輝美、福井寛、前田秀一、前野聖二、
松浦一雄、松田臣平、森田敬愛、八角克夫、八若洋平、渡辺春夫、

名誉幹事：植村勝

顧問：藤田稔